

西川ゴム工業株式会社SDGs宣言

2024年8月11日（日曜日）**「ひろしま海の森プロジェクト」海の環境教室への参加！**

2024年8月11日、広島県尾道市因島で「ひろしま海の森づくりプロジェクト 親子で学ぶ海の環境教室」が開催されました。プロジェクト事務局は株式会社テレビ新広島が担当し、イベントの運営を円滑に進めていただきました。当社もプロジェクトのパートナー企業として、S分科会メンバー3名がイベントに参加しました。

当日は朝7時に広島駅をチャーターバスで出発し、因島大浜町にある福山大学マリンバイオセンターへ向かいました。キャンパス近くには美しい海が広がり、浜辺観察会が行われ、炎天下の中、参加した子どもたちは元気いっぱいには浜辺の生物を観察して、実際に生態系を学びました。

浜辺観察の後、参加者は3つの班に分かれて、以下の体験会に参加しました。

1. アマモの光合成実験と観察

福山大学因島臨海キャンパス内の施設にて、アマモの光合成の実験と観察が行われました。実験では、アマモが光合成を通じて酸素を放出し、二酸化炭素を吸収する様子を実際に観察することができました。

2. マリンバイオセンター水族館見学

附属のマリンバイオセンター水族館では、瀬戸内海に暮らす生き物を観察しました。大水槽でのダイナミックな泳ぎや、タッチングプールでヒトデやウニに触れる体験、さらに川や海に暮らす小さな生き物の観察が行われ、学生たちが運営する迫力ある水族館で海の生物に触れる貴重な機会となりました。

3. 養殖場見学

大学運営の養殖場では、シロギスの養殖風景を見学しました。人の手を経て美味しい魚が私たちの口に入る過程を学ぶとともに、養殖の苦労や努力を感じることができました。

昼食休憩を挟んだ午後には、工作体験が行われました。大学の職員の方々が事前に集めて乾燥させた海藻を使用し、海藻押し葉体験を通じて素敵なしおりを作成しました。ピンセットで海藻を扱いながら、各自のデザインを施し、思い出に残る作品が完成しました。

今回のイベントでは、海の生物やその不思議、そして私たちの生活との深い関わりを学ぶ貴重な機会となりました。今後も当社はパートナー企業としてこのプロジェクトに積極的に参加し、瀬戸内海でアマモの育成を行っていくことで海洋生物を育てていく里海を保護・保全する活動に繋がっていきたいと思います。



浜辺の観察会



福山大学マリンバイオセンター水族館



アマモの葉を試験管に入れ光を当てる



海藻押し葉



アマモの光合成実験



シロギスの養殖